

せいめい小委員会報告

佐藤文衛(東京工業大学)

2019年度せいめいユーザーズミーティング

2019年8月7-8日@京都大学

せいめい小委員会 委員

佐藤文衛(東京工業大学:委員長)

松永典之(東京大学)

峰崎岳夫(東京大学)

野上大作(京都大学)

渡邊 誠(岡山理科大学)

神戸栄治(国立天文台)

泉浦秀行(国立天文台)※職名による委員

長田哲也(京都大学)※職名による委員

旧岡山プロ小を引き継ぎ、
SACとTACの役割を担う

任期:1期2年(通例2期)

現委員の任期は2019年9月末まで

佐藤、松永、峰崎、神戸が退任

せいめい小委員会の活動 (2018年8月31日の公募説明会以降)

- 2018年10月1日:せいめい小委員会発足
- 2018年10~12月:2018年度第1-4回せいめい小委員会
 - 望遠鏡ステータスをもとに共同利用開始時期、内容について議論
 - 9月末~10月上旬の公募開始目標を1月上旬の開始に延期
 - 初回公募では当初予定のキューモードを断念
- 2019年1月16日:2018年度第5回せいめい小委員会にて公募開始を決定
- 2019年2月13日:2018年度第6回せいめい小委員会(プログラム編成会議)
 - 共同利用は30夜相当
 - 審査期間が短いためせいめい小委員がレフェリーを兼ねる
 - 申請:クラシカル12件(33.4夜)、ToO10件(26.2夜)
 - 倍率:夜数ベースで(33.4+26.2)/30=1.99倍
 - カテゴリ:恒星8、系外銀河8、その他6
 - 採択:クラシカル9件(24.5夜)、ToO5件(10.5夜)
 - 採択課題:恒星4、系外銀河6、その他4
 - 不採択課題:恒星4、系外銀河2、その他2

せいめい小委員会の活動 (2019年度前期)

- 2019年4月3日:2019年度第1回せいめい小委員会
 - 委員の後任選任方法→光赤天連にも推薦投票を依頼(本日17時〆切)
 - 2019Bの公募時期・内容、レフェリー選定方法
 - UMの日程
- 2019年5月3日:2019年度第2回せいめい小委員会
 - 2019Bの審査、採否決定プロセス→188cm鏡を基本的に踏襲
 - 共同利用キャンセル、補填の決定プロセス→分室が対応、事後報告
 - キャンセル時間の扱い→立ち上げ期はエンジニアリングと交換、通常は共同利用のバッファの範囲で補填
 - データアーカイブ→本UMでユーザー意見の回収
- 2019年7月3日:2019年度第3回せいめい小委員会(プログラム編成会議)
 - 共同利用は60夜相当
 - 通常の審査、採否決定プロセス(外部レフェリー審査を依頼)
 - 申請:クラシカル7件(27夜)、ToO7件(25.95夜)
 - 倍率:夜数ベースで(27+25.95)/60=0.88倍
 - カテゴリ:恒星4、系外銀河6、その他4
 - 採択:クラシカル7件(39夜)、ToO7件(33.1夜)
 - 採択課題:恒星4、系外銀河6、その他4
 - 不採択課題:なし

今後の検討課題

- データアーカイブ
 - SMOKA?、占有期間2年?1.5年?
- 新しい共同利用装置の受け入れ
- キュー観測、自動観測へ向けて
 - 旧光赤外専門委員会への答申では、キュー観測を定常運用期の主たる観測モードとしている。さらに、キュー観測を実施する人的負担を軽減するため自動観測の導入も合わせて答申している。
- 他